

ベラルーシ公開情報取りまとめ

(1月12日～1月18日)

2021年1月20日
在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

- 2020年、金保有量、2019年対比1トン増加。(1/12)
- ByPOL(当館注:退役した元治安部隊員による反政府団体)、カルペンコフ内務省次官の声に似た、ベラルーシ抗議活動に対する治安部隊の対応に関する音声記録を開示。(1/15)
- ベルガスプロム銀行、イェルマルコヴァ氏を同行頭取に任命。(1/18)

【ルカシェンコ大統領動静】

●ナザロフ副首相及びパルホムチク産業大臣と会談。 (1/12 大統領公式ホームページ)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

- ・ロシア国営企業の調達において、ベラルーシ企業の参入に問題はないだろうか。
- ・製品の質の向上および維持は重要であり、これなしに安定的稼働と目標達成はあり得ない。
- ・ベラルーシ企業が西側の制裁の対象となった。この制裁は野暮であり、政府に対抗措置の検討を指示した。
- ・今後の計画について報告されたい。予測ではなく、計画を求める。生き延びたいのであれば、計画を実現する必要がある。

ナザロフ副首相の発言要旨は以下の通り。

- ・2020年の産業生産高は、2019年対比99.3%であった。2020年夏頃、98%を予想していたが、わずかながら改善した。これには、客観的な原因がある。(林業・木工・製紙産業コンツェルン)ベルレスブムプロム社では2019年の数字を上回った。
- ・石油、ガス等、第三国との合意に頼る必要のない自国産原料に関し取り組みを実施している。

パルホムチク産業大臣の発言要旨は以下の通り。

- ・製品の質に関し、幾つかの企業において品質低下が見られたが、これは新製品であり、最近上市されたものである。

●医療・保健制度に関する会議に出席。

(1/14 大統領公式ホームページ)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

- ・医療及び心理支援に関する法改正が検討されている。これらは、国民に対する医療支援の法律上の基本を定義するものである。我が国民は、無料かつ効果的な治療を受けられるべきである。国家は、最新の医療機器や医師の個人保護用品が用意されているような環境を維持すべきである。
- ・体育やスポーツ、環境的安全、保養機関の利用、労働環境の整備等、これらなしでは健康維持が不可能である事項については法的メカニズムによって保証されるべきである。

●カラウル・ベラルーシ国立銀行総裁及びペリスキ 一大統領補佐官と会談。

(1/15 大統領公式ホームページ)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

- ・全ベラルーシ国民会議までの間、財政、経済に関する2020年の結果に関し検討される予定であり、本日、ベラルーシ国立銀行の重要な役割について協議したい。
- ・インフレ率は計画値より上回ってしまったが、説明を求める。価格の安定性は最重要課題である。
- ・カラウル総裁に対しては、この大変な時期になんとか状況を抑えていただいて感謝申し上げる。他国の銀行制度は崩壊した。我々はただ状況を抑えただけでなく、経済機能を促進することができた。
- ・経済があつて銀行がある。経済なくては、銀行もな

い。また、経済なしに、財政はない。空から降ってくる資金はないし、今後もない。しかし、実体セクターへの融資の可能性は模索する必要がある。

・西側からの制裁の圧力に対抗すべく学ぶ必要がある。制裁は、政治的なものであり、我々がそれを受けるとは道理はないが、我々を苦しませようとしている。約3千社がベラルーシにおいて機能している、あるいは関係している。そのため、誰もベラルーシの暴落を欲していない。

●フレニン国防大臣と会談。

(1/18 大統領公式ホームページ)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・以前、貴大臣とは、ロシア政府とともに露ベラルーシ共同演習「ザーパド 2021」の構想や詳細を仕上げるよう合意した。

・近く予定されている他の演習の構想に関する状況を知り、我々の軍隊がいかに前進したのかを確認したが、ロシア政府との演習に関する構想はいかがであろうか。私はプーチン露大統領とこの演習を実施すると合意をしている。

・2020年にベラルーシ軍の発展に向けた五カ年計画が終わりを迎えたが、どのような結果であったろうか。第一に我が軍を一定のレベルまで上げること、第二に軍事都市、兵舎等軍事拠点の完成、第三に武装強化の実施について貴大臣と合意した。

フレニン国防大臣の発言要旨は以下の通り。

・バルト三国、ポーランドのみならずウクライナにおいても演習の数が増えている。これは、西側諸国がベラルーシ問題の解決策を模索していることを物語っている。

・このような軍事的脅威に対する最も有効な施策は、戦略的協力である。その考えから、我々はロシア国防省と「ザーパド 2021」の構想を練っている。

【外交】

●欧州議会、ベラルーシにおけるアイスホッケー世界選手権開催の停止を要請。

(1/14 ベラパン通信)

●国際復興開発銀行の融資によりベラルーシの3医療機関がCT装置を購入。

(1/14 ベラパン通信)

●リンデ欧州安全保障協力機構議長、「我々は、依然、ベラルーシ危機解決に向け支援する。」と発言。

(1/14 ベラパン通信)

●駐ベラルーシ・米国大使館、ベラルーシ国内独立系メディアへの迫害に対し懸念表明。

(1/15 ベラパン通信)

●アルバニア、北マケドニア、モンテネグロ、アイスランド及びノルウェーが、EUによる第三次対ベラルーシ制裁に参加。

(1/15 ベラパン通信)

●アレクシク外務次官、ジュク駐ベラルーシ米国臨時代理大使と会談し、アレクサンドロフ氏(ベラパン通信元副社長)、その他政治犯の釈放の必要性について協議。

(1/16 ベラパン通信)

【経済】

●2020年1月～11月、貿易高、2019年同期対比、15%減少。

(1/12 ベラパン通信)

●2020年、金保有量、2019年対比1トン増加。

(1/12 ベラパン通信)

●産業生産高、2020年対比0.7%減少。

(1/12 ベラパン通信)

●オストロヴェツ原発第一エネルギーブロック、100%稼働開始。

(1/13 ベラパン通信)

●2020年ベラルーシのインフレ率、7.4%。
(1/13 ベラパン通信)

●2020年ベラルーシ新車販売台数、2019年対比18%減少。
(1/14 ベラパン通信)

●ベルテレコム、ベラルーシにおける5G導入・実用に向けた用意を発表。
(1/14 ベラパン通信)

●2020年1月～11月、ベラルーシ企業の負債額、2019年同期対比20%増加。
(1/14 ベラパン通信)

●2020年1月～11月、赤字企業数25%増加、黒字減少企業45%増加。
(1/14 ベラパン通信)

●ユーラシア開発銀行、ベラルーシの債務残高対GDP比は50%を超えると評価。
(1/15 ベラパン通信)

●2020年、ベラルーシ農業生産高、2019年対比4.9%増加。
(1/16 ベラパン通信)

●エネルギー省、オストロヴェツ原発第一エネルギーブロックの発電装置保護システム作動後のネットワーク切断を発表。
(1/16 ベラパン通信)

●ベルガスプロム銀行、イェルマルコヴァ氏(当館注:2020年12月10日まで同銀行臨時管理長として勤務)を頭取に任命。
(1/18 ベラパン通信)

【内政】

●ミンスク市執行員会内務局、ベラパン通信事務所の捜査を実施。(1/14 ベラパン通信)

●保健省、感染リスクの高い医療従事者に対するロシア製新型コロナウイルスワクチンの接種の開始を発表。
(1/16 ベラパン通信)

●保健省、新型コロナウイルスワクチンに関し公表。
(1/17 ベラパン通信)
公表内容の要旨は以下の通り。

・ロシア製ワクチンについては、第一ロットは17万個として契約しており、昨年内に2万個を受領済みである。

・第一四半期中にロシアパートナー企業との協力の下、自国製ワクチンの製造を実施する。

・医療機関、公共交通機関、貿易機関の従事者への接種を終える4月以降他の国民への接種へと移行する予定である。

・ロシアだけでなく、中国製のワクチンの輸入交渉も実施している。

●フレニン国防大臣、ベラルーシ露共同軍事演習「ザーパド2021」の実実施計画について言及。
(1/18 ベルタ通信)

フレニン国防大臣の発言要旨は以下の通り。

・本計画は、仮想国家に対する軍事的及び政治的状況のエスカレーションのあり得べき形態の1つに基づくものである。演習は9月10日から16日までの7日間で実施される予定である。ロシアの同僚の提案により、演習は両国の領域で実施され、ベラルーシとロシアの軍隊の地域グループの運用と部隊作戦の実施に係る課題について訓練することが可能である。

・西側諸国の代表者をオブザーバーとして演習に招待する予定である。彼らに見てもらおう。我々はオープンで、軍の状態と訓練のレベルを示す準備ができている。

【抗議勢力側の動き】

●調整評議会、ベラパン通信や自由な活動の権利を主張する記者への連帯を表明。

(1/14 ベラパン通信)

●ByPOL(当館注:退役した元治安部隊員による反政府団体)、カルペンコフ内務省次官の声に似た、ベラルーシ抗議活動に対する治安部隊の対応に関する音声記録を開示。

(1/15 ベラパン通信)

●ラトウシュコ国家危機対応局長(調整評議会幹部会メンバー)、「ByPOL が公表した音声記録は、国連安全保障理事会、EU 議会、欧州安全保障協力機構、ロシア政府、米国政府に送付される。」と発表。

(1/15 ベラパン通信)

●内務省、ByPOL が公表した音声記録に関する言及を拒否。

(1/15 ベラパン通信)

●チハノフスカヤ元候補、ByPOL が公表した音声記録について言及。

(1/15 ベラパン通信)

・テロリストとは、権力維持のために暴力や恐喝を使用する者である。治安部隊の本来の課題は、国民の保護であった。しかし今は、元大統領とその側近を保護する事へと目標が変わってしまった。

・治安部隊の者へ、あなた方は 900 万人の国民を余計なものと考えているのだろうか。独裁者に対する勲功章のために人々を傷つけ、障害を負わせ、命を奪う用意があるのだろうか。政権はあなた方に対し、新政府があなた方やあなた方の子供たちをいじめ、跪かせ、殺害するなど吹き込んでいるが、我々は、子供たちは親の行為の責任を取る必要はないと知っている。それぞれが自身の責任を取る必要がある。我々是对話や自由について話しているが、彼ら(政府)は恐怖政治や強制収容所について話している。我々は平和的解決を提案しているが、彼らは戦いを提案している。

・ByPOL の音声記録は米国議会、欧州安全保障協力機構、欧州議会やその他国際的なパートナーの下へ送付される。我々はEUに対し、特殊部隊や内務省組織犯罪・汚職対策総局をテロリスト認定するよう要請している。

●調整評議会、ByPOL による音声記録に関し言及。

(1/15 ベラパン通信)

・現政権は、不適切な色を持つ人々、不適切な歌を歌う人々、不適切なダンスを踊る人々、不適切な時間に散歩する人々を鉄線で囲おうと提案するほど、弱くなっている。

・これらの一つ一つの提案が、全ての国際的規範や人権を侵害しているだけではなく、政権の支持者をも遠ざけてしまっている。

(了)